

# キラリ！築山っ子

本島

## 特別支援教育の推進に向けて

令和5年度がスタートしました。入学したばかりの1年生たちが新しい環境の中で一生懸命頑張っている姿につい笑顔がこぼれます。

さて、特別支援学級の活動や、特別支援教育の考え方、その取組や情報などを紹介する中で、みなさんと一緒に特別支援教育や発達障がい等について学び合えたら、との思いのもと、今年も「キラリ！築山っ子」を発行します。

様々な特別な支援を進める上で、子どもたちの「安心感の保障」と「困り感の軽減」、そこから「イケてる感の向上」につないでいかなければいけない…と云われます。これは特別支援学級も通常学級も同じですね。安心できる教室で学習に取り組む中で「困る様子」が見られたら、その軽減に向けた工夫を進めていく必要があります。ここで特別支援教育の様々な考え方が生かされてきます。この工夫がうまくマッチすれば「僕ってやれるじゃん！」「私って頑張ってる！」といった「イケてる感の向上」いわゆる自己肯定感の向上につながりますね。



このお便りが、子どもたちの「イケてる感の向上」に少しでも役に立ち、色々な「キラリ！」につながったらいいなと、思っています。年度初めのお便りということで、例年と変わらず固い文章になりましたが、今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

## 特別支援教育コーディネーターがいます(^\_^)v

各小学校中学校には1名以上の特別支援教育コーディネーターが指名されています。今年度も築山小学校では、4名の特別支援教育コーディネーターが指名されています。

特別支援教育コーディネーターってご存じですか？



なかよし2組担任の田中裕美子先生、6組担任の村上有美先生、保健室の島崎由香利先生、そして通級指導教室担当の本島隆浩の4名です。

特別支援教育コーディネーターは、特別な教育的支援を必要とする子どもたちへの適切な指導支援について保護者の皆さんや先生方の相談窓口となったり、必要に応じて関係機関との連絡調整を進めたり、また学校全体の特別支援教育の推進を担当したりしています。このお便りもそのひとつです。

子どもたちの発達や行動上の気付き、学習面の困り感などについて、保護者の皆さんが心配されることがあれば、担任の先生の他に4人の特別支援教育コーディネーターがお話を伺ったり、よりよい支援の方向性などについて一緒に考えたりします。必要に応じて、各関係機関（療育機関や医療機関・その他の福祉機関等）を紹介したり、専門家のアドバイスを受けるためのつながりを案内したりすることも可能です。

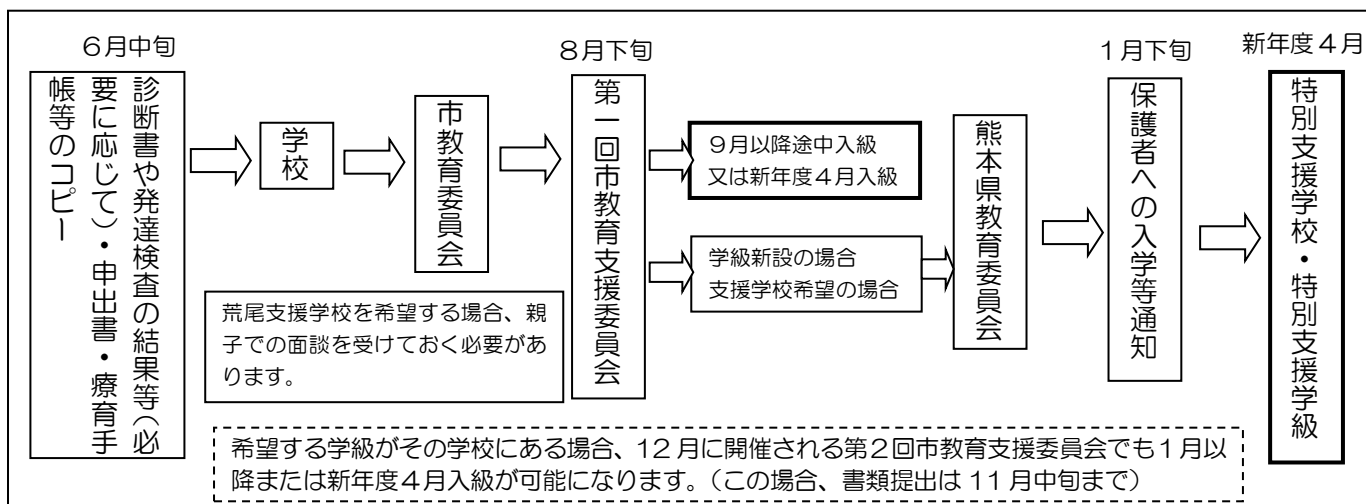


担任の先生でも4名のコーディネーターの誰でも相談しやすいところへご相談いただければ、しっかりお話を伺い、より良い方法や方向性を一緒に考えていきたいと思えます。

# 教育支援委員会について

新年度になりましたので、今年も最初に「教育支援委員会」についてお知らせします。特別支援学級に入級したい…と考える時、玉名市「教育支援委員会」に資料を提出し、検討してもらう必要があります。玉名市では毎年8月と12月の2回、「教育支援委員会」が開かれています。子どもたちの進路を最終的に決定するのは本人や保護者の皆さんであることを念頭に置きつつ、保護者の皆さんに適切に情報を提供して、子どもたちの望ましい就学を支援するためのシステムです。

## 【教育支援委員会の基本的な手続きの流れ】



☆ 形式的な手続きだけ紹介するとこのような感じですが、6月に書類を提出することになると、そこまでに子どもたちの進路についてある程度確定しておく必要があります。中学校進学の場合、5年生の間には、どう進むのかをある程度決めておくと6年生になって慌てることがありません。

「中学校の特別支援学級」「荒尾支援学校」などある程度進路は決まっても、それぞれ可能性がある学校や学級を保護者の皆さんとできれば子どもさんも一緒に見学に行かれておくことをお勧めします。中学校卒業後、支援学校を考えるのか、通常の高校を考えるのかも、特に知的障がい学級を選ぶ場合は考えておく必要があります。

荒尾支援学校では定期的に「シンポジウム」が開かれ、自由に参観したり、教育相談（荒尾支援学校を希望するしない別に）を受けてもらえます。不明な点がありましたら、小学校へご相談ください。

☆ 現在、通常学級に在籍している子どもたちの中で、今後特別支援学級への入級をえられる場合も、基本的な流れは同じです。上の表の通り、決められた期間に資料を提出して、教育支援委員会での検討を経て入級…ということになります。

色々な手続きにも時間がかかりますので、これらの流れをご理解の上、「特別支援学級を考えてみようかな…」と、思われたら早目に担任やコーディネーター等へご相談ください。まずは、校内でその子にとってどのような学び方が適しているのか、保護者の皆さんと一緒にしっかり話し合っ進められたらと思います。



## 《学び方を選択できるということです》

入学の段階で、或いは学年の途中や進級のタイミングで通級指導教室も含め、特別支援学級での学習を選択する子どもたちがいます。これは「学び方、学びのスタイルの選択」です。子どもたちが見せる色々な様子に合わせて「一斉指導がいいのか」「個別（少人数）の指導がいいのか」「ゆっくり学ぶスタイルがいいのか」など考えていきます。

「通常学級で勉強についていけないから」「集団の中では周囲に迷惑をかけるから…」といった考え方を耳にすることがありますが、これは誤りです。様々な学び方から「自分はこの学び方で頑張るぞ！」と子どもたちが前向きに捉え、「イケテル感」に繋げるためにも、私たち大人の正しい理解が大切です。

このお便りと前後して、今年度の「子育て学習会」の案内を配付する予定です。参加してみたい方、「どんな会なの？」と聞いてみたい方、遠慮なく担当の本島までご連絡ください。